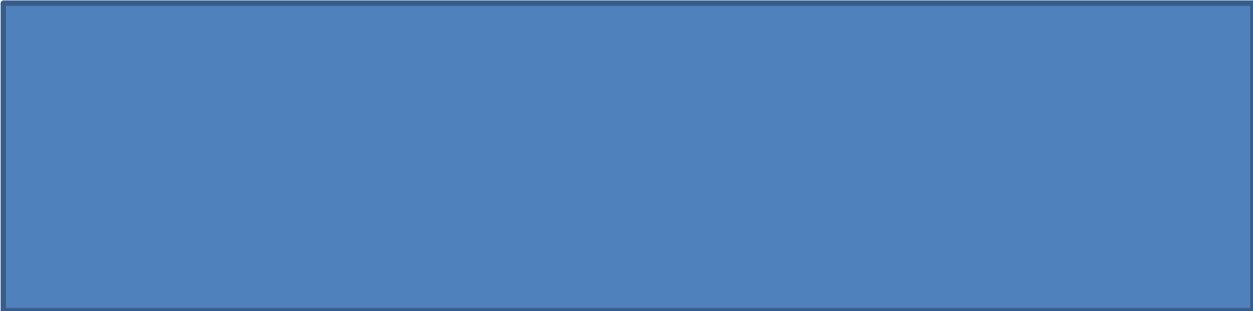


令和4年度災害時の外国人市民支援 に係る研修 実績報告書

市民局国際平和推進部国際化推進課多文化共生担当
(受託者：(公財) 広島平和文化センター)



令和4年度災害時の外国人市民支援に係る研修の実施

外国人市民の防災意識の向上を図るとともに、日本語で円滑にコミュニケーションできない外国人市民に対する災害時の支援体制を整えるため、「災害時の外国人支援に係る研修の実施業務」を（公財）広島平和文化センターが受託し実施した。

1 実施内容

（1）外国人市民のための防災研修

外国人市民を対象に、災害とはどのようなものか認識してもらい、適切な避難行動につなげてもらうよう防災意識の向上を図るための研修を2回実施した。

本研修では、外国人市民に広島市で過去に発生した災害や今後の備えなどについて学び、「災害は他人事ではなく、自分事である。」ことを理解してもらうため、広島市で被災した経験を基に防災・減災に取り組んでいる防災士を講師として招へいした。

<1回目>

実施日：令和4年9月4日（日）13：00～16：30

会場：広島市留学生会館 ホール

講師：矢田町内会自主防災 会長 防災士 木村 隆明氏

矢田町内会 会長 防災士 松本 昌之氏

広島県防災ドローン研究会 防災士 伊達 富美氏

参加者：外国人市民 10人、災害通訳等ボランティア登録者（通訳補助）5人

共催：公益財団法人広島市文化財団 温品公民館

協力：広島市危機管理室災害予防課内容

内容：

災害の種類や特徴に関する講義、避難所における生活や備蓄品などについての説明、避難所での受付を円滑に行うための「防災カード」や避難時のチェックリストを記載した「命の袋」の作成体験などを行った。

<2回目>

実施日：令和4年9月14日（水）9：45～11：30

会場：佐東公民館

講師：一般社団法人梅林学区復興まちづくり協議会代表理事 防災士 松井 憲

参加者：外国人市民9人、佐東にほんご教室のスタッフ（サポーター）8人

共催：公益財団法人広島市文化財団 佐東公民館

協力：佐東にほんご教室

内容：

災害の種類や特徴に関する講義、災害時に円滑に避難するための事前準備や避難方法（自宅、知人宅、ホテル、車）のメリット及び留意点についての説明などを行った。

(2) 災害通訳等ボランティア研修

広島市の災害通訳等ボランティア等を対象に、災害時における対応を身に付け、通訳・翻訳のスキル向上を図るための研修を実施した。また、災害通訳等ボランティアの更なる能力の向上のため、本委託業務とは別に当財団が実施する「(3)参考：通訳ボランティア研修」に、災害通訳等ボランティアも参加できるようにした。

実施日：令和5年2月12日（日）14：00～16：30

会 場：広島国際会議場 会議運営事務室

講 師：(特非) 多言語センターFACIL理事長 武庫川女子大学文学部教授 吉富 志津代

参加者：13人(災害通訳等ボランティア2人、通訳ボランティア5人、両方の登録者6人)

内 容：

本研修では、まず広島市職員が、広島市の外国人市民の状況、広島市災害多言語支援センター及び災害通訳等ボランティア制度、平成30年7月豪雨災害時の外国人対応について説明を行った。

次に、講師が、災害時の外国人への支援体制の在り方の説明、阪神淡路大震災及び東日本大震災時の外国人支援を通して得た気づきなどについて講義を行った後、震災時の避難所における課題と解決方法を考えるワークショップを行った。